

三島市の姉妹都市 パサディナ市における 山火事被害に対する支援に ご協力ください

1957年から交流を続けている姉妹都市の
アメリカ合州国カリフォルニア州パサディナ
市とその周辺にて、1月7日に大規模な
山火事が発生し、多くの人々が被害に見舞わ
れました。三島市と三島市国際交流協会は、
支援のために以下のとおり救援金を受け付け
しています。



★救援金の募集

◎救援金箱を設置しています。

令和7年5月30日(金)まで
市役所本館玄関ロビー及び国際交流室
(中央町別館2階)



★チャリティグッズの販売

◎チャリティグッズとして トートバッグを販売しています。 (3種類各1,000円/個)

売上利益金を救援金とさせていただきます。

- ☆販売場所 国際交流室(中央町別館2階)
その他MIRAイベント(国際交流フェア、
オータムフェア等)の会場でも販売予定
- ☆販売期間 令和8年3月まで



◎送金先および使途

姉妹都市交流をパサディナ市側から支えてくださっているPasadena International Association (パサディナ国際協会)を通して、被害にあわれた姉妹都市交流に関わりのある方々に贈呈いたします。

※この救援金は、寄付金控除の対象とはなりません。

本件に関するお問い合わせは、国際交流協会055-976-1020または三島市国際交流室055-983-2645

第7回 友好都市親善中国語スピーチコンテスト開催

2024(令和6)年12月1日



沼津市中国語合唱団



特別参加杉森洋月さん(手前)

2024(令和6)年12月1日、第7回友好都市親善中国語スピーチコンテストが、三島市民生涯学習センターで開催されました。7回目の今回は、暗誦部門4名、スピーチ部門13名の参加者で素晴らしい発表を披露し日ごろの成果を競い合いました。審査員の協議の結果、最優秀者には麗水市長賞を、暗誦部門では今回は1位の方のみ、スピーチ部門では1～3位の方々が受賞しました。

審査員からは「暗誦部門では、一語一句丁寧な発音で普段の練習の真剣さと熱意が伝わり感動しました。スピーチ部門では、以前の参加で奨励賞を授与された人が再挑戦して努力する姿に感心しました。語学の学習は言葉だけではなく、その背後に文化があります。文化まで掘り下げた交流ができれば幸いです」とのコメントをいただきました。

また、昨年特別参加の小学5年生杉森洋月さんが、今回も「十五年後の今日」と題して特別スピーチを行いました。全員の発表後には、沼津市中国語合唱団による中国語の歌も披露され、まさに中国文化に触れるひと時を過ごすことができました。



麗水市長賞
渥美 夢羽さん



審査員(左から)
蘆思さん
李璧如さん
李麗新さん

麗水市長賞

渥美 夢羽 (日本大学3年)
「忘れられない留学生活」

暗誦部門 課題文:「曹冲称象」

1位 明石 麗奈 (三島南高校3年)

スピーチ部門

1位 勝根 梓 「中国語は非常に面白い」

2位 法福 昭彦 「私の夢」

3位 市川 永 「中国語を三か月学んだ感想」

審査員特別賞 倉内 太貴 「AI VS 自分」

審査員奨励賞 石川 香帆 「大きく口を動かして、はっきり話すこと」

麗水市では… 日本語スピーチコンテスト開催

三島市の友好都市である中国・浙江省麗水市では、昨年9月20日に、日本語スピーチコンテストが開催されました。麗水市景寧県青少年活動センターでおこなわれたコンテストには、麗水市の各県にある計17校から選抜された25人が参加し、日ごろの学習の成果を競いました。結果、

「私の故郷」と題して発表した、麗水市縉雲県仙都高等学校3年生の樊浩桀(パンハオジェ)さん(左写真左側)が、三島市長賞(最優秀賞)に輝きました。樊さんは、「努力と準備は、君を裏切らない」という日本語が好きで、言葉通り、努力と準備を重ねて栄冠を勝ち取ったようです。

コンテストに当たり、協会から参加者全員に、記念品としてネーム入りボールペンを贈呈しました。



参加者の皆さん



山田小で国際理解教育・ 出前講座開催

2月27日(木)市立山田小学校において、4年生およそ60人を対象に、国際理解教育の授業として出前講座を実施しました。まず、日本生まれですが南フランス育ちの澤内賢さん(裾野市在住)が、フランスの名物やお城など建築物、食べ物、フランス特有の言い回しなどを教えてくれました。澤内さんは、お父さんがイギリス生まれのフランス人、お母さんは日本人です。18年間フランスで過ごして、その後、日本に戻ってきました。



講師の澤内さん(左)とバレさん

次に、イタリアのローマ出身で三島市在住のバレリオ・ルチッティさんが、熱海のイタリアンレストランでシェフをしているだけあって、主に、イタリアの料理について話してくれました。イタリアでは、ケチャップやガーリックは使わないなど、へえっ！というお話もあって、びっくりしました。また、イタリアのオペラではマイクを使わないので、広いホール中に歌声が届くようにするための発声方法が大事で、実際によく通る声で歌ってくれました。



静岡県・重慶市 青少年囲碁交流団訪中

2024年8月6日(火)から12日(月)にかけて、静岡県青少年囲碁交流団が、中国の重慶市を訪問、重慶市で囲碁を学ぶ小学生2万人のうちから選抜された最強メンバー4人と、囲碁の対局を通して交流を行いました。訪中団は、2023年度静岡県囲碁アマチュアチャンピオンでアマチュア名人の元三島市職員加藤健一さん(右写真左から2人目)を団長に、団員は、男子2名(2023、2024年度全国高校囲碁選手権優勝者と5位)、女子2名(2024年度静岡県高校囲碁選手権女子優勝者、準優勝者)で構成、女子の優勝者の太田明希さんは、三島市在住で菰山高校に在学中です。対局は、中国チームの勝利となり、さすがは世界最強国で、その強さは半端ではないようです。



太田明希さん

太田さんは、「精鋭の人達との対局だと聞いていたので、同年代を想定していましたが、会場にいたのは小学生で驚きました。しかし、いざ対局すると年齢を疑ってしまうほど力強い打ちで、私は2敗と悔しい結果となり、自分の至らなさを痛感しましたが、言葉が通じなくても盤上で語り合い、対局を検討するなど、今後囲碁を打っていく上で成長の糧となるような本当に貴重な経験をさせていただきました」と感想を寄せています。「対局以外では、約3200万人と世界最大の人口を誇る大都市重慶市。その特産品であるジュンサイ施設、歴史博物館見学、中国高速鉄道への乗車や本場中国のパンダ見物など、多くの異文化を肌で感じることができました」と、囲碁での交流とともに、とても意義のある訪中となったようです。



お正月を楽しもう!! MIRA新春交流イベント

2025年1月26日 日 14:00～16:00



さんしんみゅうくんホールにて新春交流イベントが開催されました。日本のお正月文化を楽しんでもらおうと、餅つき、坊主めくり、福笑い、羽根つきなどが用意されました。会場では子どもからおとなまで、各国の参加者が「きね」と「うす」を使って本格的な餅つきに挑戦。あんこ・納豆・きな粉・いそべ等の好みの味でつくたてのお餅を味わいました。とん汁、おでん、おせち料理、飲み物も用意されて日本の味を堪能。初めての坊主めくり、福笑い、羽根つきは白熱した戦いが繰り広げられ、おおいに盛り上がりました。また、会場にはロサンゼルス大規模火災救援金箱も設置されました。いろいろな国の皆さんと日本の文化を通じて素敵な時間を過ごすことが出来たひとときでした。来年の新春交流イベントも楽しみですね。



欢迎来到三島 中国武术元世界王者 查蘇生さん来島



2025年2月10日(月)に中国武术元世界王者、查蘇生さんが通訳の姚鳳仙さんと共に豊岡市長を表敬訪問しました。查さんは、長拳・剣術・槍術・八卦掌などを会得し、優勝総数は20回、現在は浙江大学にて指導をしています。今回の来島は昨夏、自強武術館、国際交流協会、観光協会が麗水市と杭州市を訪れた際の交流が縁で実現しました。来日中は県東部各地の武术愛好家へ技術指導を行いました。「三島の印象は風景がきれいですね。皆さん、武术に熱心でレベルが高いです。今度はゆっくり来たいですね」と話していました。



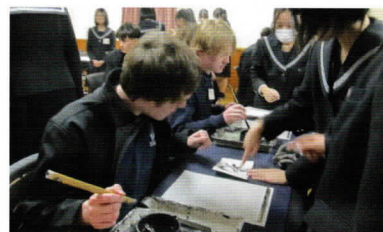
ワイタラハイスクールと姉妹校提携 ～県立三島北高・三島市立北中～



2024年12月6日、北中体育館において、ニュージーランドの姉妹都市ニュープリマス市のワイタラハイスクールと、北高、北中の3校による姉妹校提携の調印式が挙行政、ワイタラ校のウォーバートン・ダリル、北高の渡邊康男、北中の松下明子各校長、及び各校の生徒代表が宣言書にサインを交わしました。今後、3校間で、様々な交流が実施される予定です。調印式のあと、各校の代表が学校生活の紹介などを英語で行い、また、ワイタラ校の生徒達は北中、北高の授業や部活動を見学、剣道や箏曲、書道など実際に体験して、早速、交流



の輪が広がりました。夜には、順天堂大学保健看護学部の「ラーニングコモンズ」において歓迎会が開催され、ホームステイ先のファミリーと歓談。アトラクションでは、ワイタラ校の生徒が、マウリ族の踊りの「ハカ」を披露してくれました。



令和6年度

麗

水

市

教

師

派

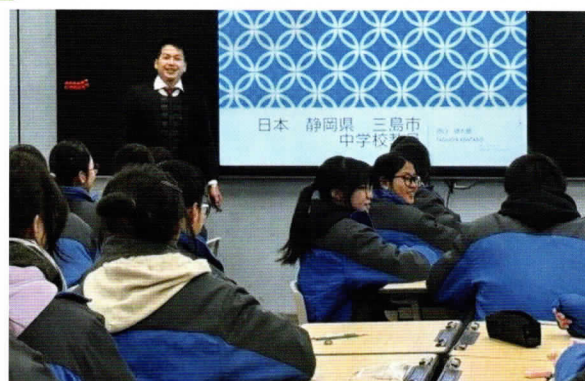
遣

事

業



渡邊裕介 教諭



田口健太郎 教諭

麗水市教師派遣事業として、令和6年12月15日(日)～22日(土)の期間、田口健太郎教諭(中郷西中学校)と渡邊裕介教諭(西小学校)の2名の先生方が麗水市を訪問し、視察と授業を行いました。先生方や生徒達との交流を通じて教育方法の違いや、取り組み方はとても良い経験になったそうです。「今後もこの事業を通じて両国の教育が発展し、三島市と麗水市の友好関係が更に深まることを願います」と感想を述べました。

✧ James Molloy - MIRA Newsletter #42 ✧

JIMのみしまものがたり④②

Happy Birthday - 季節はめぐって -

1995年を覚えている方は、少し思い返してみてください。あの年、日本ではさまざまな出来事がありました。そして、私にとっても特別な年でした。

1995年、私ははじめて三島へやってきました。そして2025年、あれからちょうど30年の節目を迎えます。

初めて新幹線を降りたときのことは、今でも鮮明に覚えています。改札のところで私を迎えてくれたのは、まもなくカナダへ帰国する私の兄でした。当時この地で暮らしていた彼は私の道標となり、私はこのまちと出会いました。

あれから30年。今年の2月、再び三島を訪れた兄は、私の誕生日と日本で過ごす30回目の冬と一緒に祝ってくれました。

久しぶりに兄と会い、思い出話に花を咲かせるのはもちろん楽しい時間でしたが、それ以上に胸に込め上げてきたのは、「感謝」と「巡り合わせの奇跡」です。誕生日に贈られるプレゼントの中でも、最高のものだと思いますか？

「感謝」

兄がこの地に道を開いてくれたおかげで、私はここへたどり着くことができました。もし彼がいなかったら

たら——そんなことは想像もできませんが——私は全く違う土地で、全く違う人生を歩んでいたことでしょう。

今、私の人生をともにするすべての人に出会えたこと、それは計り知れない幸運です。兄に、そして出会えたすべての人に、心からの感謝を伝えます。

「巡り合わせの奇跡」

振り返れば、これまでのすべての出会いが、私を今ここに導いてくれたのだと気づきます。道を歩いている最中は、その先がどうなっているのか分かりません。しかし、時が経ち、ふと振り返ってみると、それまでの一步一步が確かに道を築いていたことが分かるのです。出会っただけでなく、その道のりをともに作ってくれたすべての人へ——ありがとうございます。

長い時間がかかりましたが、ようやく誕生日を祝う本当の意味が分かったような気がします。



Happy Birthday to you all.

一緒に国際交流の輪を広げませんか

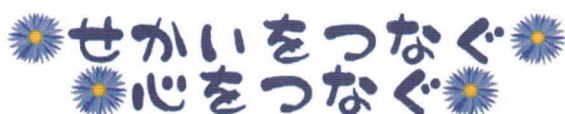


MIRA会員 大募集

年会費 3,000円(個人) | 1,500円(学生) | 5,000円(家族) | 5,000円(団体)

入会申込・問合せ・行事に参加したい・ホストファミリーをやりたいなど、なんでも…

三島市国際交流協会 TEL.055-976-1020



三島市国際交流協会

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ